

—実学の関大— 会計の頂点がここにある

MBA
in ACCOUNTANCY

Graduate School of
Kansai University,
School of Accountancy

関西大学 会計専門職 大学院

アカウンティングスクール

2022

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。
- 2 入学試験としては、一般入試（学力重視方式及び素養重視方式）、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留学生別科特別入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。
- 3 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けることのできる者を総合的に選抜する。

カリキュラム・ポリシー

会計専門職大学院では、会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

1 教育内容

- (1) 本研究科においては、高度な会計専門職業人として、
 - ①国際水準で通用すべく卓越した理論と実務への習熟、②公益を意識した職業倫理観の醸成を達成するために、会計・監査を中心に据えながら、将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。
- (2) 横軸に科目群として、本研究科で専門職教育を受けるための前提となる「導入科目群」、会計専門職業人として最低限必要とされる能力を養う「基本科目群」、基本科目で習得した内容をさらに深化し隣接領域に展開する教育を行う「発展科目群」、そして、経済社会において即戦力となる会計専門職業人としての能力を養う「応用・実践科目群」を置く。一方、縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」の5系統を配置している。
- (3) 個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニ

ングを可能とする個別演習指導、研究志向の学生向けの論文作成の指導科目を「横断科目」として設置している。

2 学習成果の評価

- (1) 学習成果の評価については、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして、明確な評価基準に従って行われる。
- (2) 学習成果の評価基準は、筆記試験やレポート試験によるもののほか、プレゼンテーション及びディスカッションを総合評価するなど、各科目の特性に応じて定められており、その評価にあたっては、厳格な相対評価から絶対評価によるものまで、それぞれの科目に応じて基準が定められている。
- (3) 「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。
- (4) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。

ディプロマ・ポリシー

会計専門職大学院では、国際水準で通用し、かつ理論と実務に習熟した会計専門職業人に対して会計修士（専門職）の学位を授与します。

1 (知識・技能)

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。

2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として考動力をもって社会の要請にこたえることができる。

3 (主体的な態度)

国際化およびIT分野にも精通し、かつ、財務・法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。



研究科長

富田 知嗣

みなさん、
関西大学会計専門職大学院
(アカウンティングスクール) へようこそ！

関西大学会計専門職大学院は、国際会計士連盟(IFAC)の国際教育基準(IES)に準拠した教育サービスを提供することで、世界水準で通用する、理論と実務に習熟した高度職業会計人の養成を目的にしています。この目的には、会計教育に加え、財務・法律・税務・経営・経済などの得意分野をそれぞれの学生が修得することまで含みます。

私たちは、会計+αを備えた「会計心をもった超会計人」として、会計士業界・産業界・官公庁のリーダーたりうる高度職業会計人(MBA in Accountancy)を輩出します。

そのために、本大学院では、多彩なカリキュラムを用意し、各科目系統に基本から発展、応用・実践へと段階的な学修ができる科目を配置したうえで、得意分野を伸ばすための個別演習科目を置いています。この結果、学生は自分の進路や学修スタイルに応じて、明確なキャリアを設計することができます。また、学生には24時間体制の自習室や専用の図書資料室を用意することで、その自由な学修を後押しします。

現在、皆さんの先輩が公認会計士をはじめとして各方面で活躍しています。皆さんも私たちと一緒に関西大学会計専門職大学院で夢のある将来を見つめませんか。私たち教職員は、皆さんの夢の実現のために最大限の教育サービスを提供します。

コンテンツ Contents

- 2 設置の理念
- 3 ごあいさつ・コンテンツ・研究科概要
- 4 会計専門職大学院の10の魅力
- 6 カリキュラム
- 7 カリキュラムツリー
- 8 講義紹介
- 10 修士論文を書く
- 11 施設紹介
- 12 サポート体制
- 14 公認会計士試験合格者体験談
- 16 在学生・修了生からのメッセージ
- 17 就職支援
- 18 教員スタッフ
- 21 学費・諸費／奨学制度
- 22 入試概要

研究科概要

名称 (英訳名)	関西大学大学院 会計研究科 会計人養成専攻(専門職学位課程) (Graduate School of Kansai University, School of Accountancy Major of Accountancy)
通称	関西大学会計専門職大学院 関西大学アカウンティングスクール
設置形態	専門職大学院
学位名称 (英訳名)	会計修士(専門職) (Master of Business Administration in Accountancy)
入学定員	40名(収容定員80名)
教員スタッフ	専任教員13名 (うち、研究者教員7名、実務家教員6名) 兼任教員 1名 兼任教員 31名
授業形態	昼間開講(一部科目を夜間に開講)
修業年限	2年(長期履修学生制度あり)
修了所要単位	48単位
履修制限単位	32単位(1年間)

※ 2021年4月現在

会計専門職大学院の

1

➡ P.6 参照

豊富な授業科目

キャリア設計に
最適

皆さんの進路・ニーズに応じて会計を中心に、基本→発展→応用・実践と自分のレベルに応じた学修が可能です。また、講義形式の授業のみならず、演習・事例研究といった授業も多様に展開しています。さらに、これからの時代に即した国際化・ITにも対応し、ニーズの高い最先端の科目を特殊講義として多数用意しています。

2

➡ P.11 参照

最適な学修環境

24時間365日
自習室利用

本会計専門職大学院生全員分の個人ロッカーとキャレルが設備された快適な環境で、学修することができます。また24時間365日利用が可能のため、早朝から夜遅くまで、自分の生活スタイルに合わせた学修が可能です。



3

➡ P.8・9 参照

会計専門職大学院独自のインターンシップ制度

監査法人および企業等、皆さんの進路に合わせたインターンシップを展開しており、また、インターンシップは授業の一つとして単位認定されます。各種インターンシップはいずれも本会計専門職大学院独自のプログラムです。

修得した会計の
実力で実践を

4

➡ P.21 参照

充実の奨学制度

学費は将来の自分への投資です。本会計専門職大学院はできる限りこれを支援しています。高度な資格取得者や成績優秀者に対する給付奨学金から貸与奨学金に至るまで、豊富な奨学制度を用意しています。

5

➡ P.13 参照

各種試験に対応

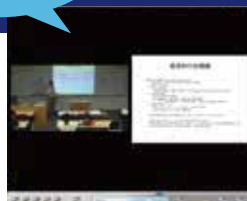
本会計専門職大学院は、公認会計士試験合格者を多数輩出しており、公認会計士試験はもちろん、プライベートバンカー(PB)試験の科目免除や証券アナリスト、U.S. CPA、公認内部監査人(CIA)、国税専門官、財務専門官、ファイナンシャル・プランナー(FP)、その他簿記や会計に関する検定試験等各種試験にも広く対応しています。

10の魅力

主要講義の動画配信

理解できるまで
何度でも

皆さんにとって重要な講義科目は、復習するため、そしてしっかりと理解するため、授業終了後に動画を配信しています。この動画は大学や自宅で何度でも繰り返し視聴することができます。



➡ P.12参照

6

さらなる学修をサポートする課外講座

充実した授業内容に加えて、皆さんのニーズに応じた課外講座を用意しています。在学生・修了生を問わず、公認会計士試験や日商簿記1級試験等の対策ができます。[CPA資格取得支援プログラム(基礎講座・対策講座)]

これから
学ぶ方にも

➡ P.13参照

7

導入科目群科目と課外講座

会計をこれから学ぶ方には、その導入から丁寧な教育を行います。また、導入教育をサポートするため、課外講座を設け、着実に理解できるよう配慮しています。

社会人の
方にも

➡ P.12・13参照

8

梅田キャンパスでの授業開講

阪急大阪梅田駅から徒歩5分の梅田キャンパスでも授業を開講しています。梅田キャンパスでの授業は夜間開講となっており、昼間は千里山キャンパスで受講し、夜間は梅田キャンパスでの受講もできます。また、社会人の方は仕事後に梅田キャンパスで受講することも可能です。本授業は社会人と会計専門職大学院生の共同授業となっています。



➡ P.6・11参照

9

長期履修学生制度

本来であれば2年で修了することになりますが、その期間を3年ないし4年に延長することができます。その特徴は次のとおりです。①じっくりと時間をかけて勉強できる。②社会人の方にとっては年間の履修科目を少なくすることで働きながら学修できる。③学費は2年修了とほぼ変わらないため、年間あたりの学費を少なくできる。

➡ P.23参照

10

会計心(Accounting Mind)をもった 超会計人の養成

本会計専門職大学院では、以下のようなカリキュラム体系を用意しています。

横軸に科目群として、「導入科目群」・「基本科目群」(会計専門職のための基礎的教育)、「発展科目群」(会計専門職としての発展的教育)、「応用・実践科目群」(会計専門職としての実務適応教育)。

縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」。

さらに、先端的・学際的な特徴ある科目として、特殊講義(Specific Lecture)、学生の幅広い個々のニーズに応えるための個別演習科目(学修・進路指導)、修士論文科目およびインターンシップ科目を用意しています。

<2021年度入学生適用カリキュラム>

系 統	導入科目群	基本科目群	発展科目群	発展科目群 特殊講義 (Specific Lecture)	応用・実践科目群	横断科目
財務 会計系	中級商業簿記	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論 英文会計論 IFRS 会計論 組織再編会計論	公会計論 BATIC 演習 IFRS 演習 貸借対照表論 連結会計実務	基本会計プログラム演習 会計事例研究 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS 事例研究 ディスクロージャー実務	発展科目群 特殊講義(Specific Lecture) 税務と会計 ※ 会計専門職業数学 企業情報の読み方と使い方 ※ 新規ビジネスの立上げと成長戦略 ※ 企業マネジメントと会計 病院経営の勘どころ・日本経営 グループ寄附講座 ※
管理 会計系	中級工業簿記	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 企業分析論 コストマネジメント論 企業価値マネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	コンサルティング実務	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	応用・実践科目群 アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 論文指導 (導入) 論文指導 (基礎) 論文指導 (実践) 修士論文 監査法人インターンシップ 企業インターンシップ
監査系		監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	監査実施論 監査報告論 内部監査論 国際監査基準論	公監査論 不正摘発監査論 国際監査事例研究 会計検査制度論	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	
法律・ 税務系		企業法	商取引法 会社法 民法 上級会社法 法人税法 上級税務会計論 租税法理論 租税法会計論 国際税務論	民法 (債権)	企業法判例演習 税務事例研究	
経営・ 経済系			経営学理論 経営戦略・組織論 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論 統計学 ミクロ経済学 マクロ経済学	資本市場論 起業・株式公開事例研究	企業実践コミュニケーション	※ 梅田キャンパス開講科目

・修了に必要な単位数

以下の科目を含めて48単位以上を修得しなければなりません。ただし、中級商業簿記及び中級工業簿記を修了所要単位に算入することはできません。

- (1) 基本科目群: 16単位
- (2) 発展科目群: 16単位
- (3) 応用・実践科目群: 12単位

・履修制限単位

1年間32単位

(ただし、導入科目群科目および監査法人インターンシップ、企業インターンシップは含めません。)

・単位数

「論文指導(実践)」および「修士論文」は各4単位、その他の科目は2単位

・学年暦・時間割をチェック!!

会計専門職大学院の

ホームページで

学年暦や時間割をご覧いただけます。



研究科紹介

📖 学則

👤 学生数

📅 学年暦

🕒 時間割

● 導入科目群

● 基本科目群

● 発展科目群

● 応用・実践科目群

DP ディプロマ・ポリシー

PP プログラム・ポリシー

PP

理論と実務に習熟した
「財務に強い」会計専門職業人

PP

理論と実務に習熟した
「法律・税務に強い」会計専門職業人

PP

理論と実務に習熟した
「経営・経済に強い」会計専門職業人

2年次

DP3

DP2

DP1

1年次

DP3

DP2

DP1

● プロフェッショナル・ソリューション ● 論文指導(実践) ● 修士論文

● 実践会計
プログラム演習
● IFRS事例研究
● ディスクロージャー実務● 国際管理
会計事例研究● 実践監査
プログラム演習● 企業法判例演習
● 税務事例研究● 企業実践
コミュニケーション● 英文会計論
● IFRS会計論
● 組織再編会計論● コストマネジメント論
● 企業価値マネジメント論
● マネジメント・
コントロール・システム論● 内部監査論
● 国際監査基準論● 上級会社法
● 租税法理論
● 租税法会計論
● 国際税務論● コーポレート・
ファイナンス論
● インVESTメント論
● マクロ経済学

● 会計専門職業倫理

● アカデミック・ソリューション ● 論文指導(導入) ● 論文指導(基礎) ● 監査法人インターンシップ ● 企業インターンシップ

● 基本会計
プログラム演習
● 会計事例研究
● 会社経理実務

● 管理会計事例研究

● 監査事例研究
● 基本監査
プログラム演習● 商取引法
● 会社法
● 民法
● 法人税法
● 上級税務会計論● 経営学理論
● 経営戦略・組織論
● 統計学
● ミクロ経済学● 会計基準論
● 会計制度論
● 財表作成簿記論● 戦略管理会計論
● 企業分析論● 監査実施論
● 監査報告論● 商取引法
● 会社法
● 民法
● 法人税法
● 上級税務会計論● 経営学理論
● 経営戦略・組織論
● 統計学
● ミクロ経済学

● 上級簿記論 ● 上級財務会計論 ● 上級原価計算論 ● 上級管理会計論 ● 監査制度論 ● 監査基準論 ● 企業法

● 中級商業簿記 ● 中級工業簿記

財務会計

管理会計

監査

法律・税務

経営・経済

DP1 (知識・技能)

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。

DP2(思考力・判断力・表現力等の能力)

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として行動力をもって社会の要請にこたえることができる。

DP3(主体的な態度)

国際化およびIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。

関大ASで公認会計士をめざす

高度な資格に基づく会計専門職業人をめざす学生のために、資格取得に必須となる理論的知識、そして資格取得後に有効な実務的能力の修得をサポートします。

ピックアップ講義

会計専門職業倫理



清水 涼子 教授
実務家教員：公認会計士

監査及び会計の専門家である公認会計士には、公益上の使命と職責を果たすために、専門的知識の習得に加えて、独立性の保持及び倫理に関する高い意識が求められています。会計専門職大学院には、とりわけ高い職業的価値観と高度な倫理観に根ざした会計プロフェッションの育成が期待されているのです。このような社会的要請を受け、関西大学会計専門職大学院では、会計・監査・財務サービスの高度化・拡大への対応の柱の一つとして「公益を意識した職業倫理観を醸成」する教育を掲げています。本科目は、まさにこの目的を達成するための必修科目であり、健全な会計マインドと高度な倫理観を備えた人材の育成を目的とします。授業は、理論・制度・実務の3本柱で構成し、通常の講義形式のみならず、ディスカッション、ロールプレイ、プレゼンテーション等を通じて、さまざまな角度から職業倫理の意義を考察することにより、最終的には倫理的意思決定能力を身につけることをめざします。

●ピックアップ講義を含む履修例

〔2021年度入学生適用カリキュラム〕

	基本科目群	発展科目群	応用・実践科目群	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
財務会計系	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 会計制度論	会計事例研究 ディスクロージャー実務	監査法人インターンシップ アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション
管理会計系	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 企業価値マネジメント論 企業分析論	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	
監査系	監査制度論 会計専門職業倫理 監査基準論	監査実施論 監査報告論	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	
法律・税務系	企業法	会社法 上級税務会計論 法人税法 租税法会計論	税務事例研究	
経営・経済系		経営学理論 マクロ経済学		

+α

監査法人インターンシップ体験談

【インターンシップ先】EY新日本有限責任監査法人

【実習期間】2020年2月12日(水)～14日(金) (3日間)



石本 裕貴さん
2年次生

普段の学生生活で触れることのない監査の実情を知り、今後の学修や資格取得後の就職に向けた参考にしたいと考えてインターンシップに臨みました。

体験した業務は主に3点ありました。監査や財務アドバイザーを疑似体験するグループワーク、身近な消費財(飲料)を通じて実践的な監査の視点を養う消費財ワーク、そして会計専門職や監査法人に求められる機能や能力を議論し発表するプレゼンテーションです。これらを通じて監査法人で働くうえで求められる能力や視点、知識がどのようなものかを体感することができました。特に、消費財ワークで身近な企業を検討対象として、公認会計士の方と不正のリスクについてディスカッションした経験は、大学院で学んだ知識と実務の関係性が見えて価値のある時間となりました。

以上の業務を通じて監査や会計の学修の意義を強く感じられるようになり、公認会計士資格取得への意欲が大きく強まりました。

※プロフィールの学年は2021年3月時点

関大ASで企業人や公務員等をめざす

企業や公的組織の経営管理を行うために必要な会計の理論と技術を修得します。企業の経理担当者や公務員をめざす学生のためにさまざまなサポートを行います。

ピックアップ講義

会社経理実務



池上しのぶ
特別任用教授
実務家教員：公認会計士

実際の会社で行われている経理実務は、規模や業種、管理方針等の違いによりさまざまです。

また、簿記の問題のように会計処理に必要な情報が処理前に全て明らかにはなっておらず、会計処理に必要な情報は、経理部が各部署や子会社等から積極的に収集し、集めた情報の内容が会計上どのように影響するのかを評価した上で処理を実行していかなければなりません。

つまり、会計人としてのスキルは単に簿記の問題が解けるというだけでは不十分であり、情報収集能力及び事実認識能力を備えてこそ十分に発揮されます。そこで、本講義は、業種ごとにさまざまな経理実務がある中でも、経理が果たすべき本来の役割を理解いただき、簿記の処理の前提となる必要な情報収集能力及び事実認識能力を高めていただけるよう講義を展開していきます。

皆でたくさん議論して、会計の能力を一段と高めてまいりましょう。

●ピックアップ講義を含む履修例

〔2021年度入学生適用カリキュラム〕

	基本科目群	発展科目群	応用・実践科目群	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
財務会計系	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 IFRS会計論 財表作成簿記論 英文会計論	会計事例研究 基本会計プログラム演習 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS事例研究	企業インターンシップ アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション
管理会計系	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 コストマネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	
監査系	監査制度論 会計専門職業倫理 監査基準論	内部監査論		
法律・税務系	企業法	上級税務会計論 法人税法 会社法		
経営・経済系		経営学理論 インベストメント論 経営戦略・組織論	企業実践コミュニケーション	

+α

企業インターンシップ体験談

【インターンシップ先】株式会社オービック

【実習期間】2019年8月26日(月)～30日(金) (5日間)



木村 碧依さん
2年次生

私は現在公認会計士をめざしていますが、資格取得をゴールとするのではなく、自分が本当にやりたいことは何かを自分自身の体験から考えるきっかけを得たいと考えていました。そこで、私が公認会計士を志した理由の1つである「さまざまな業界と関わる仕事がしたい」という思いから、さまざまな企業の経営サポートを行っている株式会社オービックでのインターンシップに参加しました。

インターンシップでは、まず事業内容やシステム業界について教わり、会社経営のサポートにあたり会計知識はその基盤であること、その上で経営者の立場に立った視野の広さの必要性を学びました。その後、業務体験として事業提案のプレゼンテーションを行い、その中で、良い提案書を作るだけでなくそれを相手に伝える努力やコミュニケーションの重要性、仕事に対する姿勢も教えていただきました。また、5日間を通して社員の方と行動を共にする中で、自分がめざす社会人像を見つけることができ、それはこの少人数でのインターンシップに参加しなければ得られなかったものだと感じました。

※プロフィールの学年は2021年3月時点

論文指導(導入・基礎・実践)



柴 健次 教授
研究者教員

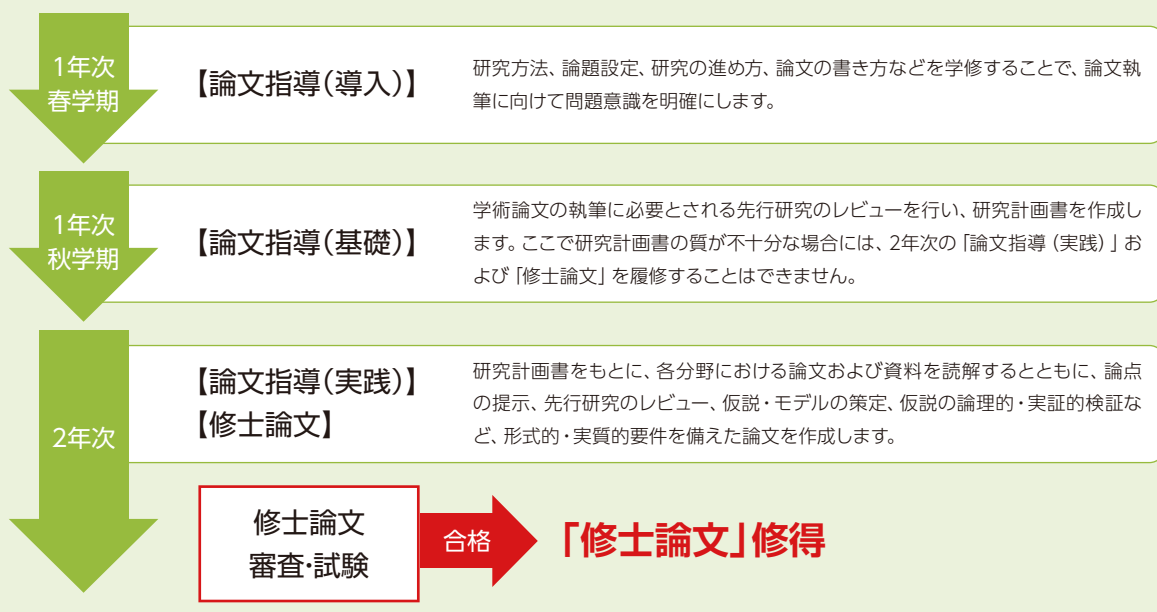
修士論文は卒業論文と共通する特徴がある一方で、やはり異なる。良い論文に共通する特徴とは、論ずる課題が明確にされていること、論ずべき課題へ接近し論者の結論を導き出す過程が論理的に示されていることにある。これに欠けると、論文とは認められない。一方、異なる点とは、熟練度の相違による論考の稚拙の度合いであって、論者次第である。

論文の書き方なる指導書を読んでも解決しないことが多い。すでに語られた課題を知らずして挑戦していれば徒労に終わることを教え、設定された課題が論ずるに値しないとすればこれは正し、論者として稚拙であればヒントを与え、論理展開に無頓着であればこれを交通整理する。指導教授の役目なのだろう。だから、論文はかくあるべきとする指導はうまくいかない。極めて学習者特殊性を意識した内容になろう。未熟な論者の手助けをし、論者を成長させるのが役目だと思う。そして、その指導を理解することが論文の成否に影響する。

論文の成否は、論ずることが目的であって、他の目的のために論ずるのではないという単純な事実により左右される。要は、論者が論じずにはおれない気持ちを持っているか、論じることが何より楽しいと感じているかが重要である。これがあれば書ける。

●修士論文の履修モデル

修士論文は、研究目的を達成するために、先行研究をもとに研究課題を設定し、研究課題を解明するために研究対象を調査、分析および解釈することによって、先行研究に対する新たな発見事項を提示することが求められます。その意味で、修士論文は、論述型の試験や講義レポートとは大きく異なります。修士論文を執筆する場合には、担当教員の指導のもとで、多くの時間と努力を投入して論文を書き進めることになります。



施設紹介

会計専門職大学院自習室

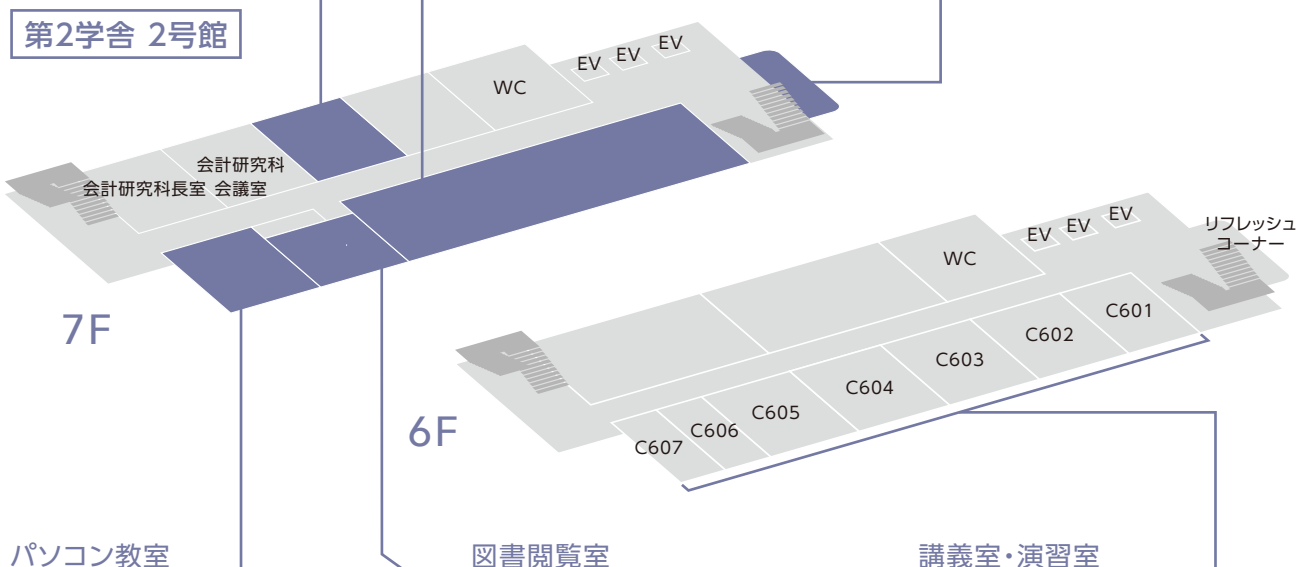


本会計専門職大学院生専用の自習室を、第2学舎2号館に設置しています。開放的で利用しやすい自習室を「24時間365日利用可能」です。同建物内1階にコンビニと食堂もあります。また、自習室内には個人ロッカーも設置しており、非常に快適な環境で自習することが可能です。

図書資料室



本会計専門職大学院生専用の会計、ファイナンスを中心とするコアジャーナルおよび最新の図書資料を配架しています。



パソコン教室



パソコン教室では「会計監査プログラム」等のソフトウェアを使った授業が行われます。

図書閲覧室



新聞や会計関係の雑誌を閲覧することができます。

講義室・演習室



講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。7階に自習室、1階にはコンビニ、食堂もあり、非常に快適な学修環境を提供しています。

総合図書館

総合図書館は、地上3階・地下2階からなり、21,750㎡の総面積を持つ、大学図書館としてはトップクラスの設備と規模を誇る施設です。高槻キャンパス図書館、ミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館を含め、蔵書数は231万冊以上あります。

第2学舎1号館(教務センター)

教務センター(会計研究科担当)があり、履修や修学・学生生活に関する相談・質問に対応します。

梅田キャンパスでの授業開講

関西大学梅田キャンパスで、会計専門職大学院の授業の一部を夜間の時間帯で開講しており、自分のライフスタイルに合わせた科目履修が可能になります。また、梅田キャンパスで開講されるビジネス講座は、広く社会人にも開放しています。

※2021年度は春学期2科目、秋学期2科目開講



入学前

在学中

入学前教育プログラム

新学期からの学修に備えて、入学予定の皆さんが各自で入学前に一定の水準まで学修を進めることで、入学後の講義内容をスムーズに理解できることを目的として、入学前教育プログラムを実施しています。



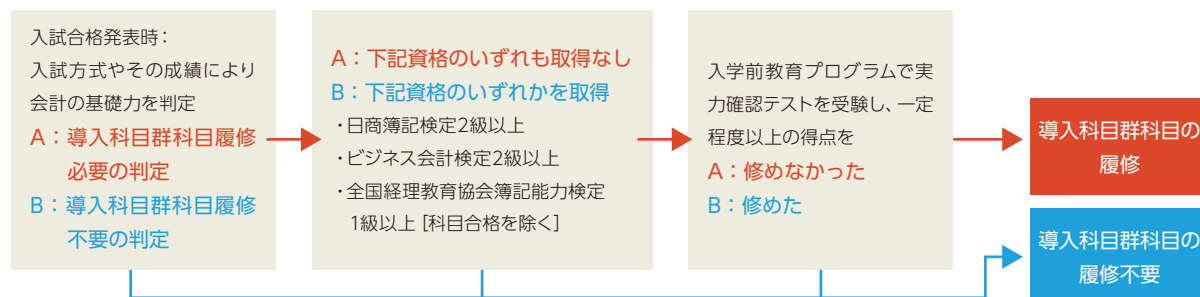
入学前

導入科目群科目

在学中

本会計専門職大学院は、会計について基本的な知識を有していることを前提に、高度で専門的な知識を段階的に提供していますが、入学生の中には、「超会計人」になるための素養は有しているものの、会計についての基本的な知識をまだ有していない方もおられます。そこで本会計専門職大学院では、これまで実施してきた入学前教育プログラムに加えて、特にこうした方を対象に、専門的な学修を行う前段階として、導入科目群（「中級商業簿記」「中級工業簿記」の2科目）を設置し、入学後に提供しています。なお、導入科目群科目の履修対象者は、その単位修得まで、基本科目群科目（企業法、監査制度論、監査基準論を除く）の履修は認められません。

【導入科目群科目 履修決定のフロー】 Aの場合→へ Bの場合→へ



●会計の基本的な知識の修得については、入学前教育プログラム等でもサポートしていますので、積極的に活用してください。

動画配信

基本科目等の主要科目については、パソコンからその授業の動画を閲覧することができます。復習や確実な理解のために大変有益です。無料で、かつ何度でも閲覧することが可能です。



ソリューション

ソリューション科目は個別演習科目であり、その内容は、1年次配当のアカデミック・ソリューションと2年次配当のプロフェッショナル・ソリューションの2つから構成されています。

本科目では、会計専門職業人として身につけるべき会計的センスとスキルの涵養を目的とします。会計専門職業人として期待されるのは、単なる専門知識ではありません。1つの課題に

対して、種々の情報を収集し、それらを分析した後、分析結果を報告書として取りまとめ、説得力のある形でプレゼンテーションを行い、さらにディベートもできることは、会計専門職業人のみならず、社会人としても必須のスキルといえるでしょう。

本科目は複数のクラスが開講され、それぞれ異なる専門分野の教員が上記のスキルの養成に向けて指導します。そのため、アカデミック・ソリューションの専門分野と異なる専門分野のプロフェッショナル・ソリューションを受講することもできます。さらに、学生の幅広い個々のニーズに応えるべく、上記の学修指導に加えて進路指導も行います。



修了後

在学中 修了後

課外講座

本会計専門職大学院の在學生と修了生は、時間をかけて予備校に行かずとも、公認会計士試験対策の講座を受講することができます。

また、自習室から近い教室で実施されるため、時間を有効活用しながら、試験対策が可能です。修了生の受講者については、引き続き自習室を利用することもでき、快適な環境で効率的に学修時間を確保することができます。

CPA資格取得支援プログラム

公認会計士試験（短答式、論文式）に特化した、より実践的なレベルでの本格的な対策を行うことで、CPA試験の合格をめざします。この講座は「資格の学校 TAC」と提携し、試験傾向や出題者である試験委員の専門分野などを徹底分析したTACオリジナルテキストや試験問題を使用して運営されます。

担当講師の声

当プログラムは公認会計士試験に必要なすべての項目が無理なく組み込まれており、受験指導経験の豊富な講師が個別指導に近い形で皆さんを指導します。この機会にぜひ受講してください。

受講者のメッセージ

私がCPA資格取得支援プログラム(以下、当プログラム)を受講した動機は、問題演習の機会をより多く得たかったからです。本試験を受験するにあたって、自分の実力を試す機会が多い方が良いと考え、受講を決めました。また予備校の答練等は受講者数も多く、講師の方に質問しづらい時があると思います。しかし、当プログラムは本会計専門職大学院の在學生と修了生のみで行われており、疑問点はすぐに質問できるので充実した学修環境であったと感じています。

私は当プログラムを受講したおかげで、企業法の論述への苦手意識がなくなりました。その結果、模擬試験では40にも満たなかった企業法の偏差値が、本試験では科目合格に近いレベルに到達することができ、無事に合格を勝ち取ることができました。講師の方もとても丁寧に接してくださったので、受講して本当に良かったと感じています。これから当プログラムを受講される皆さんの本試験合格を祈念しております。



立岡 忍夫さん
2年次生

各種試験

本会計専門職大学院の多種多様な開講科目は、各種試験（公認会計士、U.S.CPA、公認内部監査人試験、その他簿記や会計に関する検定試験等）に対応しています。また、修了時に一定の単位修得条件を満たせば、公認会計士試験短答式科目免除（財務会計論、管理会計論および監査論）を申請することができます。なお、日本証券アナリスト協会とプライマリープライベートバンカー資格試験において提携しています。公認会計士試験合格後の、実務補習単位の減免対象科目も設置しています。



修了後

※プロフィールの学年は2021年3月時点

CASE

1

有限責任監査法人トーマツ 勤務

私の思う会計専門職大学院の強み

籠田 悠司さん Kagota Yuji

私が関西大学会計専門職大学院に進学した決め手は公認会計士試験の短答式試験の科目免除を得ること、そして、万が一に備え、新卒で就職ができるという保険を設けることでした。正直に言うと、当時は、それら以外に大きな魅力は感じていませんでした。

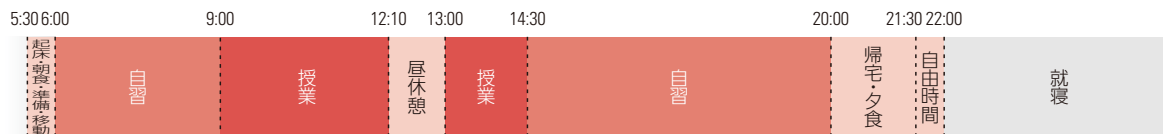
しかし、入学してみると、24時間利用可能な自習室で、朝早くから夜遅くまで直向きに勉強に励んでいる学生の姿を目にすることになりました。自分と同様に必死で頑張っている人がいるとわかると大変嬉しくなり、やる気が漲りました。

また、とても優秀で学生想いの先生方が多くおられます。講義では、専門学校では教えてくれないような、幅広く深みのある専門的知識を得ることができ、それにより、知的好奇心が刺激され、より勉強することが楽しくなりました。そして、そのような知識は試験で必要となる核の情報をより記憶に定着させ、合格に格段と近づけてくれました。加えて、公認会計士のキャリアをスタートさせる上で、かなりのアドバンテージになると感じました。

私は根気強く勉強を続けることが公認会計士試験の合格への道のりだと思っています。そして、それを可能にする環境がここにはあります。本大学院にはさまざまな支援制度がありどれも役立つものばかりです。しかし、本大学院の本当の強みは、同じ志を持ち切磋琢磨し合える仲間、幅広く深い専門的知識を提供し、学生を全力でサポートしてくれる先生方が集まっているという点です。公認会計士試験をめざす方はここに来ることを全力でお勧めします。



主な1日のスケジュール



CASE

2

EY新日本有限責任監査法人 東京事務所 勤務

公認会計士になるための環境

細川 雄大さん Hosokawa Yuta

公認会計士は難関資格ゆえ、試験勉強をするにあたり「環境」というのは試験結果を左右するほどに重要な要素です。

そんなことを何も考えずに、私は関西大学商学部から飛び級制度を利用して関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）に進学しました。そこでまず、朝から晩まで当然のように勉強する周りの公認会計士・税理士受験生の姿に衝撃を受けました。私の中で環境が変わったと感じた瞬間でした。

1年の夏休みから本格的に試験勉強を始め、本学ASをフル活用して合格をめざしました。24時間利用可能で静かな自習室、CPA資格取得支援プログラム、ソリューション科目、高い専門性を持つ教授の方々、そして同じ目標を持つ仲間。私にとって本学ASは、まさに「公認会計士になるための環境」でした。

ここまでの環境を自分の力で整えるのは簡単なことではないと思います。私は合格して監査法人で働くことができている今、本学ASを選んで本当に良かったと思っています。



主な1日のスケジュール



CASE
3

PwCあらた有限責任監査法人 大阪事務所 勤務



公認会計士合格までの道のり

畝岡 純平さん Uneoka Junpei

関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）の魅力の1つは、先生方が個性豊かであることです。勉強が進むうちに疑問点や問題点が生まれても、先生方が丁寧に教えてくださるので、入学以前より闇雲に勉強する時間が少なくなりました。他にも24時間利用できる自習室では、自分のペースに合わせて学修できる最適な環境が整っており、時には自習室で夜遅くまで残って勉強した同期と一緒に息抜きすることで、つらい時期でもお互いリフレッシュすることもできました。また、TACと提携している本学ASのCPA資格取得支援プログラムを受講できたことも、合格に繋がる大きな要因でした。

勉強面では、何より合格発表日の自分を想像して勉強していました。もし自分の名前がなかったら…、と考えると、嫌でも勉強の意欲が湧き勉強に身が入り、結果、合格することができました。

現在勉強に励んでいる方々もぜひ合格発表日の明るい自分の姿を想像し、本学ASで学修に励み、合格の可能性を少しずつ上げていってください。皆さまの合格を心からお祈りしております。

主な1日のスケジュール

6:30	8:30	10:40	12:10	13:00	14:30	17:30	18:30	21:00	22:00
起床・移動・朝食	自習	授業	昼食	授業	自習	夕食	自習	自由時間・移動	就寝

公認会計士試験合格者状況

過去3年間実績

合格年度	合格者数	主な就職先
2018年度	15名(5名)	EY新日本有限責任監査法人、 有限責任あずさ監査法人、
2019年度	11名(4名)	有限責任監査法人トーマツ、 PwCあらた有限責任監査法人、
2020年度	6名(2名)	優成監査法人(現太陽有限責任監査法人) ほか

※（ ）内は内数で、在学生合格者数を示す。



▲公認会計士試験合格祝賀会の様子(2019年12月21日)
※2020年度はコロナ禍のため開催中止



張 宏武さん
(2013年3月修了)

※写真は、2019年3月
研究科長賞受賞時のもの

U.S.CPA合格者からのメッセージ

監査法人に就職した大学時代の友人から、公認会計士について話を聞き、公認会計士という職業に魅力を感じました。また、もともと英語が得意なので、専門性を持って、グローバルな舞台で活躍する人材になるため、米国公認会計士（以下、U.S.CPA）をめざしました。関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）に進学した理由は、U.S.CPA受験勉強に対応可能なこと、合理的なカリキュラム構成、給付奨学金制度の3点でした。

国際的に活躍可能な会計士の養成を目標に、本学ASでは、英文会計論、国際監査基準論、国際管理会計事例研究、国際税務論など、U.S.CPA試験に関連する科目が配置されていました。カリキュラム構成も、基礎、発展から応用・実践と展開されており、基礎理論の学修に止まることなく、演習・事例研究といった実践的な科目を豊富に履修できました。また、授業の担当教員の先生方は、会計、監査領域の研究者と経験豊富な実務家が多くいらっしゃった点も魅力でした。そして充実した奨学支援制度があるので、経済的負担が少なく、試験勉強に集中することができました。U.S.CPAという試験は、簡単なものではありませんが、あきらめずに継続的に努力すれば必ず報われる試験だと思います。

在学生からのメッセージ

公認会計士試験合格はもちろん
さまざまな目標をもった学生が日々の学修に励んでいます。

CASE 1



石崎 日香莉さん
Ishizaki Hikari

私は、どの企業でも必ず必要とされる会計に興味を持ちました。また、深く学ぶことが好きな性格もあり、大学院への進学を決めました。どれほど質の良い教育を受けたとしても、自分のものにしなければ意味がありません。そこで、大学院を決める際は、多彩な教師陣がいることと同じくらい自習環境を重視しました。関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）への入学を決めたのは、24時間開放されており、机は広く、施設が非常に充実していたからです。

本学ASでは、公認会計士をめざし勉学に励んでおります。入学後は、コロナ禍で制限が多かったものの、自習室を活用し、勉強が捗ったと感じています。また、原則として対面授業が実施され、授業で分からなかったところはすぐに教師に質問することができています。また、今では、切磋琢磨できる友人もでき、充実した学生生活を送ることができています。

	6:30	9:00	12:10	13:30	16:00	17:00	18:30	21:00	22:30	
主な1日のスケジュール	起床・準備・移動	授業	昼食・休憩	自習	休憩	自習	移動・夕食	自由時間		就寝

修了生からのメッセージ

公認会計士・監査法人以外にも
多様な分野で「超会計人」のOB・OGが活躍しています。

CASE 1



布田 拓也さん
Nunota Takuya

泉佐野市議会議員・株式会社チイキモリ代表

私は関西大学法学部卒業後、市議会議員選挙に出馬し2票差で落選し、その経験から、本当に泉佐野市の役に立てる人間にならなければいけないと考え、関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）への進学を決めました。目的は全国ワースト2の財政状況を建て直す力を身につけるためです。会計を学んだことから、監査をするような視点で財政建て直しのための政策を明確に打ち出すことができ、財政危機を乗り越える役に立つことができたと思います。今は市議会議員を4期務めながら、起業もすることができました。

本学ASでは、朝から晩まで長時間仲間と共に学び合い、とても濃く楽しい2年間を過ごしました。そのお陰で10年以上経った今でもさまざまな職に就いた仲間と仲の良い関係が続いています。先生方にも卒業後も長いお付き合いをさせていただいており、人生において本当に貴重な宝物のような時間だったと感じています。

CASE 2



吉井 慶人さん
Yoshii Keito

税理士法人 和 勤務

私が関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）を進学先に選んだ理由は、今後のAI社会において税理士の業務も大きく変わると考え、ただ税理士試験の科目免除を受けることだけを求めて大学院に進学するのではなく、税理士業務に必要な知識を多角的に学ぶことができると考えたためです。実際に就職し、税理士という仕事には、税法の知識のみでなく会計学や経営学など多くの知識が必要となることを実感しました。本学ASで学んだことは、現在の税理士業務に生きるのみでなく、10年後、20年後の社会における税理士業務により生きてくるものだと考えます。

豊富な知識をもった教授陣、24時間開放の自習室など、学び意欲さえあれば、いくらでも学ぶことのできる環境は、本学ASの大きな特徴であると考えます。

就職支援

専門分野での就職をめざす人へ

本学OB・OGを含む現役の業界人の方々をお招きし、監査法人や税理士法人・コンサルティング業界説明会等を開催しています。

いずれも、多岐にわたる業務の内容や採用情報について、現場で活躍されている方々の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事前申し込みは不要の説明会ですので、専門スキルを生かして働きたいと考えている皆さんは自由に参加できます。

一般企業での就職をめざす人へ

本学キャリアセンターとの連携・協力のもと、在学生を対象として就職活動ガイダンスを開催しています。

1年次生には就職活動の進め方を、すでに就職活動をしている2年次生には就職活動の動向や具体的な実践方法をそれぞれ指導する説明会となっています。

そのほか、一般企業からの求人情報を学生に提供したり、企業の採用担当者向けに本会計専門職大学院についての広報活動を行ったりする等の支援も実施しています。



▲2019年10月に開催された監査法人業界研究セミナーの様子
2019年度参加の監査法人は、有限責任あずさ監査法人、PwCあらた有限責任監査法人、仰星監査法人、EY新日本有限責任監査法人、三優監査法人、有限責任監査法人トーマツの6社でした。

■年間イベント予定

実施月	内容
4月	キャリアガイダンス
10月	監査法人業界研究セミナー

■インターンシップ

監査法人インターンシップに加え、本会計専門職大学院独自の企業インターンシップを実施しています。

(過去3年間の実績)

監査法人	企業
有限責任監査法人トーマツ	住友精化株式会社
	株式会社カネカ
有限責任あずさ監査法人	住友理工株式会社
	株式会社オービック
EY新日本有限責任監査法人	あすか税理士法人
	日本経営ウィル税理士法人
PwCあらた有限責任監査法人	税理士法人 和

就職状況

本会計専門職大学院では、在学生・修了生の就職支援を目的として、就職支援委員会を設置し、会計専門職大学院＝公認会計士＝監査法人というキャリアパスだけでなく一般企業を含めて、多様なキャリアパスへの支援を進めています。

過去5年間の修了生のおもな就職先

- | | | |
|--------------|------------------------|--------------|
| ● YKK株式会社 | ● 総合警備保障株式会社 | ● 東京国税局 |
| ● 大阪商工会議所 | ● SMBC日興証券株式会社 | ● 東洋ゴム工業株式会社 |
| ● 住友理工株式会社 | ● 住友精化株式会社 | ● 株式会社平和堂 |
| ● 合同製鐵株式会社 | ● 株式会社日立プラントコンストラクション | ● 日本発条株式会社 |
| ● 株式会社ウィルテック | ● 株式会社コナミデジタルエンタテインメント | ● 税理士法人 和 |
| | | ほか |

教員スタッフ

大西 靖 教授

Onishi Yasushi



■ 担当科目

中級工業簿記、上級管理会計論、ソリューション各科目

■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- ・「マテリアルフローコスト会計の拡張可能性に関する研究」により博士（経営学）神戸大学の学位取得
- ・著書は『環境経営イノベーションの理論と実践』（中央経済社）（共著）。発表論文は“Implementing Material Flow Cost Accounting in a Pharmaceutical Company”（共著）、「マテリアルフロー指向のコストマネジメント：アメリカにおける環境管理会計の展開」ほか多数

清水 涼子 教授

Shimizu Ryoko



■ 担当科目

会計専門職業倫理、公監査論*

■ プロフィール

- ・東京大学法学部卒業
- ・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定委員
- ・みずほ監査法人において約18年間勤務。途中、監査部門から公共セクター部に移籍。公共セクター部では、公的機関への監査及びコンサルティング、海外の公会計先進国の実務の調査研究業務等に従事
- ・国際会計士連盟公会計委員会日本代表委員等（04年1月～06年12月）、財務省、総務省等政府関係審議会委員、東京都、大阪府等地方公共団体関係審議会委員を務める。
- ・主な著書として、『地方自治体の監査と内部統制—2020年改正制度の意義と米英との比較』（同文館出版）、『公会計の基礎知識—各国基準と国際公会計基準—』（朝陽会）ほか多数

加藤 久明 教授

Kato Hisaaki



■ 担当科目

中級商業簿記、上級簿記論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士課程修了
- ・「会計基準の在り方と設定の方向性に関する理論研究—アメリカにおけるリース会計基準の設定と論争の歴史的展開を踏まえて—」により博士（経営学）立命館大学の学位取得
- ・主な著書として、『現代リース会計論』（中央経済社）、『リース会計基準の論理』（税務経理協会）（共著）、発表論文として、『リース会計基準の改定動向に関する分析と検討』、『IASBとFASBの新しいリース会計基準に関する比較考察』ほか多数

富田 知嗣 教授

Tomita Satoshi



■ 担当科目

上級財務会計論、会計基準論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・名古屋市立大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士課程後期課程単位取得後退学
- ・「利益平準化のメカニズム」により博士（商学）関西大学の学位取得
- ・公認会計士
- ・主な著書として、『利益平準化のメカニズム』（中央経済社）、『倒産指数』（日本経済新聞社）、発表論文として、『新会計基準による連結予測利益の精度への影響』、『ITによる会計への影響—会計情報システムと法制度の考察—』ほか多数

柴 健次 教授

Shiba Kenji



■ 担当科目

会計制度論、公会計論*、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程中退
- ・「市場化の会計学」により博士（商学）関西大学の学位取得
- ・政府会計学会会長、日本会計教育学会前会長、日本ディスクロージャー研究学会名誉会長、その他諸学会理事・評議員等、元税理士試験委員・公認会計士試験委員等
- ・91年「金融資産の証券化と資産の認識」により日本会計研究学会賞を受賞
- ・主な著書として『テキスト金融情報会計』『市場化の会計学』（以上、中央経済社）、『外貨換算会計論』（大阪府立大学）、『自己株式とストック・オプションの会計』（新世社）

中村 繁隆 教授

Nakamura Shigetaka



■ 担当科目

法人税法、租税法理論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・関西大学大学院法学研究科法学・政治学専攻博士課程後期課程修了
- ・「クロス・ボーダー組織再編成と課税」により、博士（法学）関西大学の学位取得
- ・「課税繰延べ防止策の研究—FIF (Foreign Investment Fund) ルールを主題として—」により、第28回日税研究賞（研究者の部）を受賞
- ・著書として、『教材国際租税法 新版』（慈学社出版）（分担執筆）、発表論文として、『国際的組織再編成の展開』、『The Study for the Tax System of Cross-border Corporate Reorganizations—Focusing on the EU Merger Tax Directive for Considering the Future Direction in Japan—』ほか多数

●担当科目は、2021年度開講の各教員の担当科目を示す。

●現職は2021年4月現在

※は特殊講義として開講

松本 祥尚 教授

Matsumoto Yoshinao



■ 担当科目

監査制度論、監査報告論、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
- ・日本監査研究学会理事、日本内部統制研究学会理事、国際会計研究学会監事、Academy of Accounting Historians Trustee、会計大学院協会理事、金融庁企業会計審議会臨時委員、IAASB Official Observer for JFSA、元日本会計研究学会幹事、元会計大学院評価機構評価員、元公認会計士試験委員(監査論)
- ・主な著書として、『ベーシック監査論』(同文館出版)(共著)、『監査報告書論』(中央経済社)(共著)、『監査・証明業務の多様性に関する研究』(日本公認会計士協会出版局)(編著)、『公認会計士の将来像』(同文館出版)(共著)、『わが国監査報酬の実態と課題』(日本公認会計士協会出版局)(共著)、『会計士監査制度の再構築』(中央経済社)(共著)、『実証的監査理論の構築』(同文館)(共著)ほか多数

三島 徹也 教授

Mishima Tetsuya



■ 担当科目

企業法、会社法、ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- ・関西大学大学院法学研究科私法専攻博士課程後期課程単位修得後退学
- ・主な著書として、『プライマリー会社法(募集株式の発行等、新株予約権、社債)』(法律文化社)、『プライマリー商法総則・商行為法(商業帳簿)』(法律文化社)(いずれも共著)、発表論文として、『フランチャイザーの第三者に対する責任(一)(二完)』、『資本制度および剰余金の配当規制に関する一考察—ドイツ法における最低資本金および出資の払戻し規制を参考として—』ほか多数

宗岡 徹 教授

Muneoka Toru



■ 担当科目

インベストメント論、企業分析論、ソリューション各科目

■ プロフィール

- ・東京大学卒業、神戸商科大学大学院博士前期課程修了
- ・日本興業銀行で審査部、人事部、みずほ総合研究所主席研究員等。転職したソニーで年金企画部担当部長兼子会社執行役員。その後、関西大学大学院会計研究科教授(現)。(独)医薬品医療機器総合機構監事、東京大学客員教授(現)、上場企業の非常勤取締役(現)、非常勤監査役(現)等
- ・財務省「財政制度等審議会」委員、内閣府「経済財政諮問会議」委員、事業仕分け人。日本証券アナリスト協会試験委員会委員(現)、日本公認会計士協会委員会委員等
- ・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定会員、システム監査技術者等

特別任用教員

池上 ののぶ 教授

Ikegami Shinobu



■ 担当科目

会社経理実務、企業情報の読み方と使い方、不正摘発監査論*

■ プロフィール

- ・神戸商科大学商経学部経営学科卒業
- ・公認会計士、税理士
- ・監査法人にて金融商品取引法監査、会社法監査、労働組合監査、社会福祉法人監査、医療法人監査業務に従事するとともに、池上公認会計士事務所にて、税務業務、内部統制構築支援業務、会計コンサルティング業務(連結会計支援等)等を行う。

中丁 卓也 教授

Nakacho Takuya



■ 担当科目

ディスクロージャー実務、実践会計プログラム演習、資本市場論*

■ プロフィール

- ・関西大学商学部卒業
- ・公認会計士
- ・中央監査法人において法定監査などに従事後、農林水産省大臣官房へ出向し、金融機関の行政庁検査等に携わる。帰任後は、事業再編等に係る財務調査、価値評価業務などを行い、投資会社、金融機関及び弁護士等との協同案件にも多数従事。その後、アクア・アンド・カンパニー株式会社を設立し、事業再編、再生支援、価値評価、株式上場支援、内部統制構築支援等の専門サービスを提供。また、かがやき監査法人にて法定監査を執行。上場会社非常勤監査役、行政関係委員等を務める。
- ・主な著書として『一から学ぶ管理会計入門』(中央経済社)(共著)、『非常勤社外監査役の理論と実務』(商事法務)(共著)

福島 康生 教授

Fukushima Yasuo



■ 担当科目

監査基準論、会計事例研究、監査事例研究

■ プロフィール

- ・大阪大学経済学部卒業
- ・公認会計士
- ・有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法監査業務、上場準備企業への準金商法監査・財務調査・上場支援業務、会社法監査業務に従事
- ・主な監査経験業種は、精密機械メーカー、アパレル卸、医療器材・医薬卸、創業系ベンチャー、産業素材メーカー、電気通信業、テーマパーク、請負工事業等
- ・監査法人では事業部審査会副会長及び事業部品質管理・不正特別調査対応担当並びに大阪事務所非監査IPO業務品質管理担当

和田 泰史 准教授

Wada Taishi



■ 担当科目

上級原価計算論、企業価値マネジメント論

■ プロフィール

- ・関西学院大学大学院経営戦略研究科卒業
- ・公認会計士
- ・EY新日本有限責任監査法人において主に法定監査、株式公開支援等に従事するほか、各種セミナー講師等を担当。
- ・その後、和田泰史公認会計士事務所を設立し、株式公開支援、内部統制構築支援、財務調査、上場企業の決算支援業務等を行う。
- ・また、AKATUS合同会社を設立し、公営企業向けに経営戦略策定・改定支援、地方公営企業法適用支援、水道料金・下水道使用料改定支援、会計業務支援、内部統制構築支援、モニタリング支援等のサービスを提供。
- ・日本公認会計士協会近畿会 幹事、中堅若手委員会 副委員長、組織内会計士委員会 副委員長、地区会部 副部長を務める(現)。

客員教授



伊藤 進一郎 氏
Ito Shinichiro
日本CFO協会相談役
関西経済連合会評議員
元 住友電気工業株式会社
代表取締役副社長



内田 竜雄 氏
Uchida Tatsuo
会計検査院第四局長



原田 大輔 氏
Harada Daisuke
有限責任あずさ監査法人
専務理事 (関西地区統轄、大阪事務所長)
公認会計士



藤沼 亜起 氏
Fujinuma Tsuguoki
元中央大学大学院
戦略経営研究科特任教授
(現同大学院フェロー)

兼任教員・兼任教員

浅野 信博 Asano Nobuhiro

- 現 職 大阪市立大学大学院経営学研究科 准教授
- 担当科目 英文会計論

荒井 蔵 Arai Iwao

- 現 職 太陽有限責任監査法人／公認会計士／不動産鑑定士
- 担当科目 特殊講義(起業・株式公開事例研究)

新井 康平 Arai Kohei

- 現 職 大阪府立大学経済学研究科 准教授
- 担当科目 マネジメント・コントロール・システム論
国際管理会計事例研究

飯田 俊治 Iida Toshiharu

- 現 職 EY新日本有限責任監査法人／公認会計士
- 担当科目 特殊講義(国際監査事例研究)

石原 美保 Ishihara Miho

- 現 職 石原公認会計士・税理士事務所／公認会計士
- 担当科目 特殊講義(企業情報の読み方と使い方)

牛島 慶太 Ushijima Keita

- 現 職 牛島慶太税理士事務所／税理士
- 担当科目 特殊講義(税務と会計)

内田 聡 Uchida Satoshi

- 現 職 EY新日本有限責任監査法人／公認会計士
- 担当科目 特殊講義(税務と会計)

榎本 成一 Enomoto Seichiro

- 現 職 株式会社iBridge Japan 代表取締役
- 担当科目 コストマネジメント論

遠藤 基弘 Endo Motohiro

- 現 職 有限責任監査法人トーマツ／公認会計士
- 担当科目 IFRS事例研究

大塚 勝弘 Otsuka Katsuhiko

- 現 職 大塚勝弘公認会計士事務所／公認会計士
- 担当科目 特殊講義(新規ビジネスの立上げと成長戦略)

大橋 盛子 Ohashi Seiko

- 現 職 有限責任あずさ監査法人／公認会計士
- 担当科目 特殊講義(IFRS演習)

小澤 義昭 Ozawa Yoshiaki

- 現 職 桃山学院大学経営学部 教授／公認会計士
- 担当科目 監査実施論、組織再編会計論

韓 池 Kan Chi

- 現 職 大阪府立大学経済学研究科 教授
- 担当科目 特殊講義(会計専門職業数学)

上林 憲雄 Kanbayashi Norio

- 現 職 神戸大学大学院経営学研究科 教授
- 担当科目 経営学理論

岸本 達司 Kishimoto Tatsuji

- 現 職 新世総合法律事務所／弁護士
- 担当科目 企業法判例演習

吉良 勝明 Kira Katsuaki

- 現 職 公認会計士／税理士／社会保険労務士
- 担当科目 内部監査論、特殊講義(コンサルティング実務)

小林 依子 Kobayashi Yoriko

- 現 職 公認会計士／税理士
- 担当科目 特殊講義(税務と会計)

酒井 浩行 Sakai Hiroyuki

- 現 職 CCH Japan Limited
- 担当科目 実践監査プログラム演習

坂口 順也 Sakaguchi Junya

- 現 職 名古屋大学大学院経済学研究科 教授
- 担当科目 戦略管理会計論

高田 知実 Takada Tomomi

- 現 職 神戸大学大学院経営学研究科 准教授
- 担当科目 国際監査基準論

筒井 万理子 Tsutsui Mariko

- 現 職 近畿大学経営学部 准教授
- 担当科目 経営戦略・組織論

野田 敏男 Noda Toshio

- 現 職 野田会計事務所／公認会計士／税理士
- 担当科目 特殊講義(税務と会計)

濱村 純平 Hamamura Jumpei

- 現 職 桃山学院大学経営学部 准教授
- 担当科目 管理会計事例研究

広瀬 憲三 Hirose Kenzo

- 現 職 関西学院大学商学部 教授
- 担当科目 ミクロ経済学、マクロ経済学

藤本 さおり Fujimoto Saori

- 現 職 有限責任あずさ監査法人／公認会計士
- 担当科目 特殊講義(IFRS演習)

古橋 孝志 Furuhashi Takashi

- 現 職 株式会社ジョブマテリアルズ 代表取締役
- 担当科目 企業実践コミュニケーション

古屋敷 博文 Furuyashiki Hirofumi

- 現 職 古屋敷税理士事務所／税理士
- 担当科目 特殊講義(税務と会計)

堀竹 学 Horitake Manabu

- 現 職 大阪経済大学経営学部 准教授
- 担当科目 民法、特殊講義(民法[債権])

松井 隆雄 Matsui Takao

- 現 職 公認会計士
- 担当科目 会計専門職業倫理、特殊講義(BATIC演習)

松浦 総一 Matsuura Soichi

- 現 職 立命館大学経営学部 准教授
- 担当科目 税務事例研究

村上 晴彦 Murakami Haruhiko

- 現 職 税理士
- 担当科目 特殊講義(税務と会計)

良永 康平 Yoshinaga Kohei

- 現 職 関西大学経済学部 教授
- 担当科目 統計学

●担当科目は、2021年度開講の各教員の担当科目を示す。

●現職は2021年4月現在

学費・諸費／奨学制度

学費・諸費(2年コース)

2022年度入学者の学費・諸費は次のとおりです。長期履修学生制度(3年コース・4年コース)の学費については、学生募集要項をご確認ください。

種 別	区 分	2022年度		2023年度以降(年間)
		入学初学期	秋学期	
学 費	入 学 金	260,000円		
	授 業 料	660,000円	660,000円	1,350,000円
諸 費	校 友 会 基 本 会 費	10,000円		20,000円
合 計		930,000円	660,000円	1,370,000円

注1) 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院会計研究科学則第26条第11号に規定する者(飛び級入試合格者)が、会計研究科(専門職大学院)へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注2) 関西大学留学生別科を修了した者または在学生が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注3) 諸費の校友会基本会費は入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。なお、本学(大学院含む)出身者で、すでに納入済の方からは徴収しません。

奨学制度

関西大学では以下の奨学制度を設けています。これらに関するご質問は、関西大学学生センター奨学支援グループへお問い合わせください。その他、奨学制度についてのお知らせは決定次第、奨学支援グループウェブサイト(<https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>)にてお知らせします。外国人留学生(在留資格が「留学」)の方は、関西大学国際部へお問い合わせください。

① 関西大学大学院会計研究科(会計専門職大学院) 給付奨学金(2022年度予定)

対象者	給付金額・期間	初年度実質負担額
高度な資格取得者(学部卒業見込者、大学院修了見込者および関西大学留学生別科修了見込者)		
ア 公認会計士試験(論文式) 1科目以上合格者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円 (入学金26万円+ 校友会基本会費1万円)
イ 公認会計士試験(短答式)合格者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 27万円 (入学金26万円+ 校友会基本会費1万円)
ウ 日本商工会議所簿記検定1級合格者	年間66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+ 校友会基本会費1万円)
入 試 成 績 優 秀 者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円 (入学金26万円+ 校友会基本会費1万円)
	または 年間132万円 (授業料の全額相当額) 1年間※3	▶▶ 27万円 (入学金26万円+ 校友会基本会費1万円)
	または 年間66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+ 校友会基本会費1万円)

※1 奨学生が受給資格を欠くと認められる場合は、給付期間を短縮することがあります。

※2 高度な資格取得者を対象とする給付奨学生(1年間全額または半額給付)に該当する者が、優秀な入試成績を修めた場合、入試成績優秀者を対象とする給付奨学制度により、1年間全額給付対象者を2年間全額給付対象者として、また1年間半額給付対象者を1年間全額給付対象者として採用する場合があります。ただし、両奨学制度の併給は認められません。

※3 1年次の学業成績により、2年次も採用となることがあります。

② 日本学生支援機構奨学金(2021年度現行)

第一種奨学金(無利子)	貸与月額 50,000円、88,000円から選択
第二種奨学金(有利子)	貸与月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

※その他、民間団体の給付奨学金制度や日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、株式会社オリエントコーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」等の制度もあります。詳細につきましては、学生センター奨学支援グループまでお問い合わせください。

2022年度 入学試験日程

日 程	7月募集	10月募集※2	1月募集※2	3月募集※2
入試種別※1(方式)	一般[学力・素養] 学内進学 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人
試験地	大 阪			
Webエントリー期間	2021年 6月21日(月) }	2021年10月 4日(月) }	2021年12月23日(木) }	2022年 2月16日(水) }
入学検定料納入期間	2021年 6月28日(月)	2021年10月12日(火)	2022年 1月11日(火)	2022年 2月24日(木)
出願書類提出期間	消印有効	消印有効	消印有効	消印有効
試験日	2021年 7月11日(日)	2021年10月24日(日)	2022年 1月23日(日)	2022年 3月 5日(土)
合格者発表日	2021年 7月16日(金)	2021年10月29日(金)	2022年 1月28日(金)	2022年 3月11日(金)

※1 募集人員の内訳は、一般25名、学内進学10名、その他若干名とします。日程ごとの募集人員は設定していません。

※2 10月募集・1月募集・3月募集については、飛び級を含みます。

※3 その他入試として、指定校推薦入試、留学生別科特別入試を実施しています。詳細については、それぞれの対象者へお知らせします。

2022年度 入学試験科目

区 分	方 式	試 験 科 目
一 般 入 学 試 験	学力重視方式	筆記試験(【簿記、原価計算、会計学】の3科目から2科目を選択)
	素養重視方式	小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
学 内 進 学 試 験		書類選考および面接
早 期 卒 業 者 特 別 入 学 試 験		書類選考および面接
公 募 制 推 薦 入 学 試 験		書類選考および面接
資 格 取 得 者 ・ 社 会 人 入 学 試 験		書類選考および面接

入学試験結果

	2019年度			2020年度			2021年度		
	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学
一般入試	42	36	28	78	47	34	123	45	32
学内進学試験	5	5	4	9	9	8	13	13	12
早期卒業者特別入試	0	0	0	0	0	0	3	3	3
公募制推薦入試	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦入試	0	0	0	2	2	2	8	8	8
外国人留学生入試※	10	9	8	11	3	3	6	2	2
資格取得者・社会人入試	8	8	8	4	4	3	5	4	3
合 計	65	58	48	104	65	50	158	75	60

※ 外国人留学生入試(2022年度から募集停止)には留学生別科特別入試の人数を含みます。

2021年度 オンライン進学説明会等日程



進学説明会

5月29日(土)	10:30～11:30	研究科概要、公認会計士試験概要、 入試制度、奨学支援制度、質疑応答	Zoomによる オンライン形式	事前申込制
11月13日(土)	10:30～11:30			

保護者対象 進学相談会

5月22日(土)	10:00～11:30	研究科概要説明、公認会計士試験概要、 入試制度、奨学支援制度、質疑応答	Zoomによる オンライン形式	事前申込制
----------	-------------	--	--------------------	-------

個別相談会

6月19日(土)	10:00～12:30	1人約10分間	Zoomによる オンライン形式	事前申込制(先着順※)
11月20日(土)	10:00～12:30			

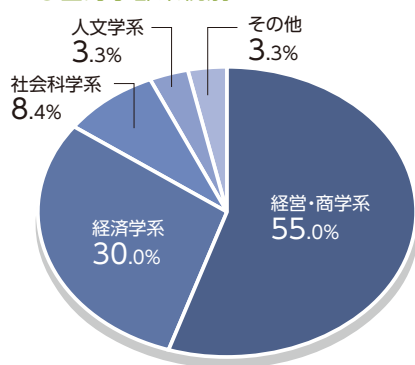
○ 進学説明会等の日程については、やむを得ず変更することがあります。最新の情報は、関西大学会計専門職大学院ウェブサイトでご確認ください。

○ 上記のほか、関西大学の学生を対象とした進学説明会を6月・9月・11月に開催予定です。詳細は学内掲示等でご確認ください。

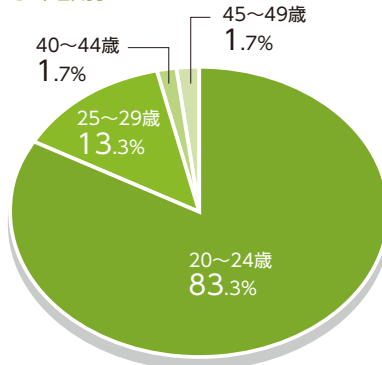
※ 申込者多数の場合は先着順とさせていただきます。定員に達した際にはお断りさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2021年度 入学者データ

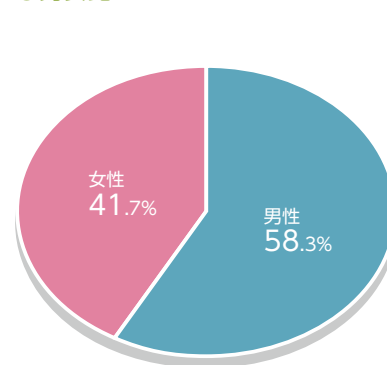
●出身学部系別



●年齢別



●男女比



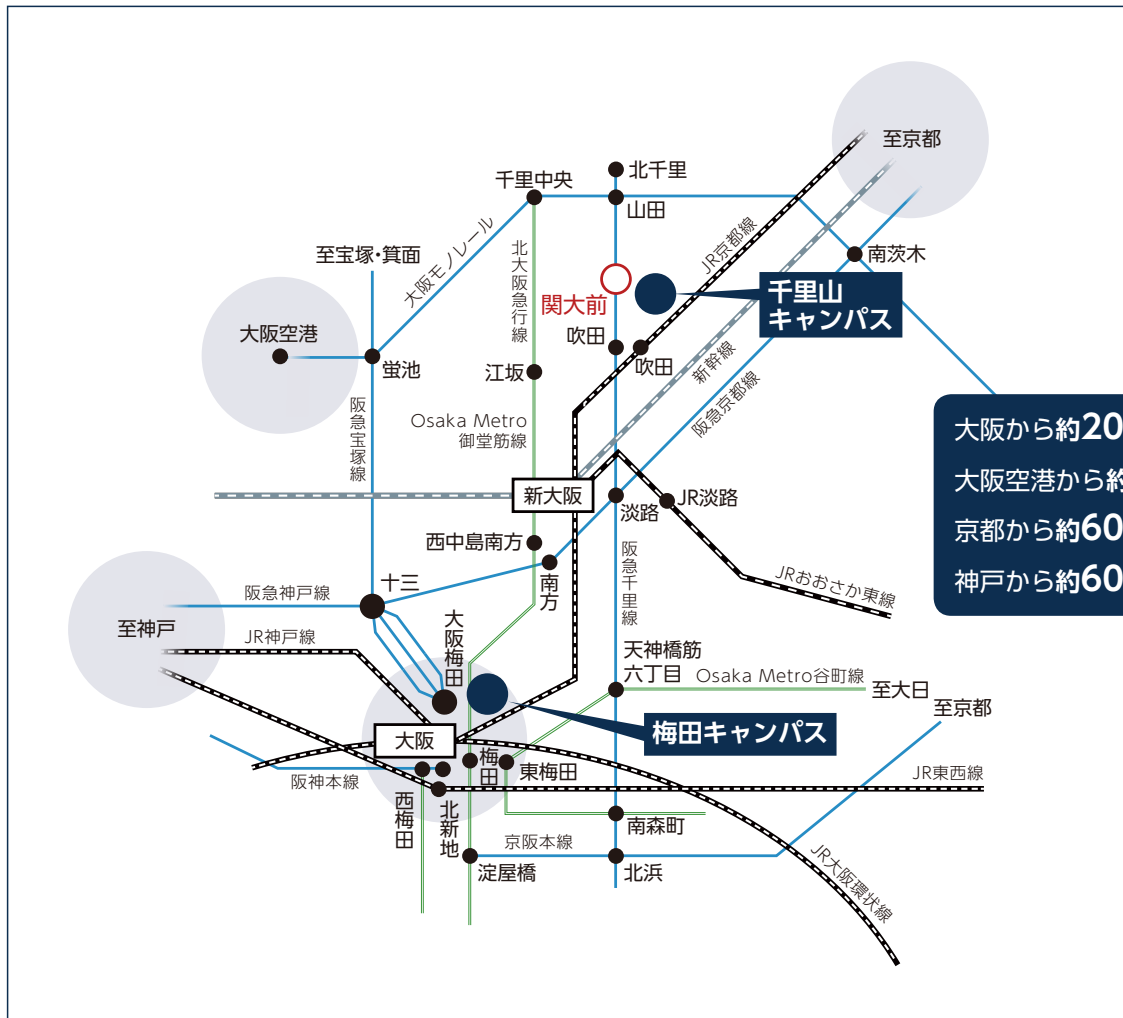
長期履修学生制度

入学者の多様な学修ニーズに対応するため、長期履修学生制度(3年コース・4年コース)を導入しています。

この制度は、在学中に職業を有すること、またはその他の理由により、標準修業年限(2年)を超えて、3年または4年在学することを希望する人に対して適用します。いずれの場合も、最長在学年限は4年間となります。

		1年次	2年次	3年次	4年次
3年 コース	履修制限単位	22単位	22単位	20単位	
	履修科目	2年コースの1年次配当科目	2年コースの2年次配当科目		
4年 コース	履修制限単位	16単位	16単位	16単位	16単位
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目	

Access Map



関西大学 会計専門職大学院

問い合わせ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
 関西大学 入試センター 大学院入試グループ
 TEL:06-6368-1121 (大代表)
 E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

最新の情報はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/as/>

